

(参 考)

(参考)

1 用語の解説

用語	解説
いくせいたんそうりんせぎょう 育成単層林施業	森林を構成する樹木の全部または大部分を一度に伐採し、そのあとに一斉に植林を行うこと等により、年齢や高さのほぼ等しい樹木から構成される森林（単層林）を造成する森林づくりの方法。
いくせいふくそうりんせぎょう 育成複層林施業	森林を構成する樹木を部分的に伐採し、そのあとに植林を行うこと等により、年齢や高さの異なる樹木から構成される森林（複層林）を造成する森林づくりの方法。
えだう 枝打ち	節のない木材を生産すること等を目的に、立木の枝を切り落とす作業。
かんぱつ 間伐	育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。
けいかんこう 溪間工	荒廃した溪流の安定や荒廃の未然防止による森林の保全等を目的として設置される工作物で、谷止工、護岸工等がある。
こうしん 更新	伐採等により樹木が無くなった箇所に、植林を行うこと等により新しい森林をつくること。

用語	解説
こうせいのうりんぎょうきかい 高性能林業機械	従来のチェーンソーや集材機等と比べて、作業の効率や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。主な高性能林業機械は、フェラーバンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、タワーヤード、スイングヤード。
こたいくん 個体群	相互に交流があるなど、何らかのまとまりをもって生息・生育する1種類の動物や植物の集合。
さんぶくこう 山腹工	山腹に発生した崩壊地等の斜面を安定させ植生の侵入や回復を促すための工事で、浸食を防止して斜面の安定を図るための山腹基礎工と、森林の造成を図るための山腹緑化工とがある。
したがり 下刈	植林した苗木等の成長を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業。通常、植林後の数年間、毎年、夏期に行う。
しゅうちゅうかいかくきかん 集中改革期間	国有林野事業の改革のための特別措置法等により行われている国有林野事業の抜本的改革を集中的に行うこととした、平成10年10月から平成15年度末までの期間。

用語	解説
じゅこうばつ 受光伐	育成複層林において、下層の樹木の生長環境と光環境を確保するために上層の樹木を抜き伐りする作業。
しゅばつ 主伐	利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり、伐採したあとに植林等を行う。
じよばつ 除伐	育てようとする樹木の成長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になる約15年生までの間に行う。
しんこうこんこうりん 針広混交林	針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。
じんこうぞうりん 人工造林	苗木の植え付け、種子の播き付け等の人為的な方法により森林を造成すること。
じんこうりん 人工林	人工造林によって成立した森林。
しんりんせぎょう 森林施業	目的とする森林を造成、維持するために行う植林、下刈、除伐、間伐等の森林に対する人為的な働きかけ。
せかいいさん 世界遺産	「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づいて作成される「世界遺産一覧表」に記載された物件。建造物等の文化遺産、自然地域等の自然遺産、両者を兼ね備えた複合遺産がある。
そざいはんばい 素材販売	樹木を伐採し、丸太にして販売すること。

用語	解説
タワーヤーダ	移動や架設が容易なようにタワーと集材機が一体となっている移動式架線集材機。一般的に大型機は全幹集材、小型機は短幹集材に用いられる。
ちいきかんりけいえいけいかく 地域管理経営計画	「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき、国有林野の管理経営の考え方や伐採等の事業の総量等について、森林管理局長が流域ごとにたてる5カ年間の計画。
ちきゅうおんだんかたいさく 地球温暖化対策 すいしんたいこう 推進大綱	京都議定書に定められた温室効果ガスの削減目標6%を達成するため、平成10年6月に政府の地球温暖化対策推進本部によって策定された政府の大綱。平成14年3月に改定され、3.9%の森林吸収量確保に向けた森林・林業対策が位置づけられた。なお、平成17年2月に京都議定書が発効したことにより、全面施行となった改正地球温暖化推進法に基づき、地球温暖化推進大綱の評価・見直しの上に立って策定された京都議定書目標達成計画（平成17年4月28日閣議決定）においても、森林吸収源対策による3.9%の確保が位置付けられている。

用語	解説
ちきゅうおんだんかぼうしんりん 地球温暖化防止森林 きゅうしゅうげんじゅつがねん 吸収源10力年 たいさく 対策	地球温暖化対策推進大綱に基づき、我が国の森林による二酸化炭素吸収量を高めることを目的に、平成14年12月に農林水産省が策定した、森林整備・保全や吸収量の報告・検証体制強化等に関する10年間の対策。
ちようきいくせいじゆんかんせぎよう 長期育成循環施業	育成複層林の造成等を進める観点から、皆伐をせず、抜き伐りを繰り返しつつ、徐々に更新を行うことにより長期間にわたって森林状態を維持し、公益的機能の維持増進を図る施業
ちようききょうてい 長期協定システム	公募により一定の区域における伐採、造林等の作業を組み合わせた事業を安定的・計画的に請け負わせる仕組み。
ちようばつきせぎよう 長伐期施業	通常、主伐が行われる年齢（例えばスギの場合40年程度）のおおむね2倍以上の年齢で主伐を行う森林施業の一形態。
つきり つる切	育てようとする樹木に巻き付くつる類を取り除くこと。通常、下刈を終了してから、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

用語	解説
てんねんこうしん 天然更新	植林等の人為によらずに森林の造成を行うこと。自然に落ちた種子の発芽や樹木の根株からの萌芽等による方法がある。必要に応じて、ササ類の除去等の人手を補助的に加えることもある。
てんねんせいりんせぎよう 天然生林施業	森林を自然の推移に委ね、主として天然更新等の自然の力を活用して森林(天然林)を造成する森林づくりの方法。
てんねんりん 天然林	天然更新によって成立した森林。
しんりん 森林バイオマス	木材(丸太)を生産する過程で森林内で発生する間伐材や端材、工事に伴う支障木等のほか、公園の樹木の剪定枝等も含め、燃料等の資源として利用できるクリーン(自然の樹木と同じ状態で、樹脂の注入等がされていないこと)でピュア(建築廃棄物のように混合物がないこと)な森林資源。
プロセス	林地又は土場で、伐倒木の枝払いをするとともに一定の長さに玉切りを行う自走式の林業機械。

用語	解説
ぶんしゅうりんせいど 分収林制度	森林を所有する者、造林または保育を行う者、費用を負担する者の2者又は3者で契約を結び、森林を造成し、伐採後に収益を一定の割合で分け合う制度。国有林野事業における分収林は、契約相手方が造林・保育を行う「分収造林」と、育成途上の森林について、契約相手方に費用の一部を負担してもらう「分収育林」がある。
ほあんりん 保安林	水源のかん養、土砂の流出や崩壊の防備、生活環境の保全・形成等の目的を達成するため、森林法に基づいて農林水産大臣等が指定する森林。指定されると、伐採等に一定の制限が課せられる。
ほいく 保育	更新後、伐採するまでの間に、育てようとする樹木の成長を促すために行う下刈、除伐等の作業の総称。
ゆうどうばつ 誘導伐	長期育成循環施業の一環として、単層林が複層状態に至までの間に下層樹木の更新や育成のために上層の樹木を抜き伐りする作業。

用語	解説
りゅういきしんりん りんぎょう 流域森林・林業 かっせいかきょうぎかい 活性化協議会	流域森林・林業活性化センターの構成員に、森林管理署、民有林労働者の代表等が加わり、流域内での取組についての合意形成を促進する場。流域森林・林業活性化センターの下で開催する。
りゅういきしんりん りんぎょう 流域森林・林業 かっせいか 活性化センター	流域内の市町村、森林・林業・木材産業の関係者等から構成され、これらの関係者間の調整、合意形成の促進等を通じて、森林の流域管理システムを推進することを目的として設けられた組織。
りゅうぼくはんばい 立木販売	樹木を伐採することなく、立木のままで販売すること。
れつじょうかんばつ 列状間伐	間伐の方法の一つ。作業の低コスト化等を目的に、伐採や搬出に都合のよいように一定の間隔で列状に間伐を行う方法。
るもう 路網	森林内にある公道、林道、作業道の総称、又はそれらを適切に組み合わせたもの。森林施業を効率的に行うためには、路網の整備が重要となる。

2 林野庁、森林管理局のホームページアドレス

用語	解説
GIS	Geographic Information System (地理情報システム) の略で、地図や空中写真等の森林の位置や形状に関する図面情報と、林種や林齢等の文字・数値情報を、コンピューター上で総合的に管理、分析、処理するシステム。
NPO	Non-Profit Organization (民間非営利組織) の略で、「特定非営利活動促進法」に基づき法人格を与えられた特定非営利法人(NPO法人)等。ボランティア活動を始めとする社会貢献活動を行うことを目的としている。
OJT	On The Job Training (職場内訓練) の略で、仕事の現場で、業務に必要な知識や技術を習得させること。

林野庁	http://www.rinya.maff.go.jp/
国有林	http://www.kokuyurin.maff.go.jp/
北海道森林管理局	http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/
東北森林管理局	http://www.tohoku.kokuyurin.go.jp/
関東森林管理局	http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/
中部森林管理局	http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/
近畿中国森林管理局	http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku/
四国森林管理局	http://www.shikoku.kokuyurin.go.jp/
九州森林管理局	http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/

図及び表の索引

1	国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進	
表 - 1	国有林野の機能類型区分ごとの目指すべき森林の姿	5
表 - 2	更新、保育、間伐の実施状況	8
図 - 1	森林の流域管理システムの考え方	12
表 - 3	教育関係機関との連携による森林環境教育の取組状況	17
表 - 4	分収林の現況面積	20
図 - 2	森林環境保全ふれあいセンターの位置図	23
表 - 5	二酸化炭素固定に資する木材・木製品の使用状況	25
2	国有林野の維持及び保存	
表 - 6	松くい虫被害の状況と対策	29
表 - 7	保安林の指定状況	30
表 - 8	保護林の設定状況	31
表 - 9	平成16年度に新たに設定した保護林の概要	32
図 - 3	緑の回廊位置図	34
表 - 10	緑の回廊の設定状況	34
表 - 11	貴重な野生動植物の生息・生育環境の維持・整備等の事例	35
表 - 12	巡視等の委嘱事例	37
表 - 13	意見交換等の事例	37
表 - 14	環境行政関係者との連絡会議の開催事例	38
3	国有林野の林産物の供給	
表 - 15	収穫の実施状況	40
表 - 16	民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材（丸太）供給実績	40
表 - 17	林産物等販売の状況	41
表 - 18	国有林材の販売単価の動向	41

4	国有林野の活用	
表 - 19	国有林野の用途別貸付け状況	44
表 - 20	林野・土地の売払い状況	45
表 - 21	林野の用途別売払い状況	45
表 - 22	レクリエーションの森の設定状況及び利用者数	46
図 - 4	国有林の「レクリエーションの森」に関する検討会報告書のポイント	47
5	国有林野の事業運営	
図 - 5	管理経営の事業実施体制	49
表 - 23	民間委託の実施状況	49
表 - 24	長期協定システム等の状況	49
表 - 25	労働災害の発生状況	50
図 - 6	業務・システムの刷新（イメージ）	50
表 - 26	平成16年度の国有林野事業の収支	51
6	その他国有林野の管理経営	
表 - 27	技術開発の取組状況	54